

「ビジュアル解説 光学入門」 初版第 1 刷：正誤表（2024 年 9 月現在）

田所利康: 「ビジュアル解説 光学入門」, 朝倉書店 (2024) 初版第 1 刷をご購入くださいます。2024 年 9 月時点で確認されております誤植とその修正についてお知らせいたします。ご参照頂ければ幸いです。

記

■ p.7, 図 1.5 座標表記を修正 (添え字を追加)

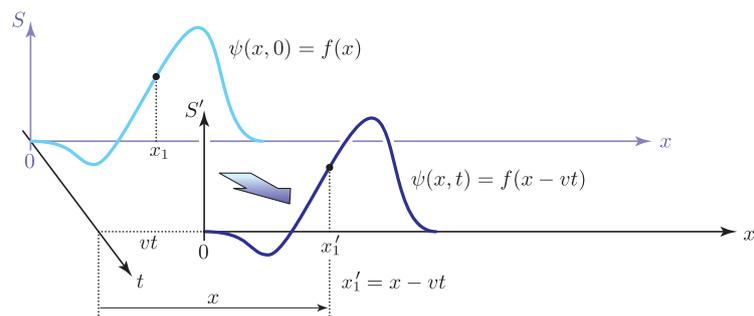


図 1.5 1 次元の波動関数

■ p.7, 1 行目 修正

【1 刷】 波動と一緒に速度 v で移動する座標系 S' の観測者からすると,

【修正】 波動と一緒に速度 v で移動する座標系 S' の観測者には,

■ p.7, 3 行目 座標の添え字を修正

【1 刷】 座標系 S' の座標 x' を, 座標系 S で見ると $x' = x - vt$ なので,

【修正】 座標系 S' の座標 x'_1 を, 座標系 S から見ると $x'_1 = x - vt$ なので,

■ p.16, 7 行目 追記

【1 刷】 $\exp(i\varphi)$ の絶対値は $\exp(i\varphi)$ とその複素共役 $\exp(-i\varphi)$ の積であり,

【修正】 $\exp(i\varphi)$ の絶対値の二乗は $\exp(i\varphi)$ とその複素共役 $\exp(-i\varphi)$ の積であり,

■ p.83, (3.3) 式 添え字を修正

【1 刷】
$$\frac{\sin \theta_i}{v_i} = \frac{\sin \theta_r}{v_r}$$

【修正】
$$\frac{\sin \theta_i}{v_i} = \frac{\sin \theta_t}{v_t}$$

■ p.88, 図 3.10(b) 添え字を修正

【1 刷】
$$\Delta \equiv \Delta_s - \Delta_p$$

【修正】
$$\Delta \equiv \Delta_p - \Delta_s$$

■ p.110, 1 行目 追記

【1 刷】 合成波の強度 E_0^2 は,

【修正】 時間振動項 $\exp(i\omega t)$ を省略して計算した合成波の強度 E_0^2 は,

■ p.112, 図 3.10 図中文字修正

【1 刷】 ある位置 x における振幅

【修正】 ある位置 z における振幅

■ p.115, 2 行目 引用式番号修正

【1 刷】 (1.52) 式

【修正】 (1.61) 式

■ p.127, 図 4.16(b) 1 次反射光の振幅反射係数の添え字を修正

【1 刷】 $E_0 r_{10}$

【修正】 $E_0 r_{01}$

■ p.138, 図 4.22 1 次反射光の振幅反射係数の添え字を修正

【1 刷】 $E_0 r_{10}$

【修正】 $E_0 r_{01}$

■ p.142, 図 4.26 1 次反射光の振幅反射係数の添え字を修正

【1 刷】 $E_0 r_{10}$

【修正】 $E_0 r_{01}$

■ p.148, 図 4.30(a) 石英基板厚を修正

【1 刷】 (1 mm)

【修正】 (5 mm)

■ p.198, (3.3) 式 添え字を修正

【1 刷】 $\frac{\sin \theta_i}{v_i} = \frac{\sin \theta_r}{v_r}$

【修正】 $\frac{\sin \theta_i}{v_i} = \frac{\sin \theta_t}{v_t}$

■ p.209, 文献 3) 誤字を修正

【1刷】 3) 長沼伸一郎：物理数学の直感的方法，講談社（2011）.

【修正】 3) 長沼伸一郎：物理数学の直観的方法，講談社（2011）.

以上

2024年9月4日

著者 田所 利康（有限会社 テクノ・シナジー）

「ビジュアル解説 光学入門」に関するお問い合わせは、出版元の朝倉書店までお願いいたします。

〒162-8707 東京都新宿区新小川町 6-29

株式会社 朝倉書店

電話 03 (3260) 0141(代表) / FAX 03 (3260) 0180